



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フェローテック

コード番号 6890 URL <https://www.ferrotec.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）賀 賢漢

問合せ先責任者 （役職名）代表取締役副社長 （氏名）山村 丈 TEL 03-3281-8186

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	140,980	4.3	14,333	0.6	12,923	△16.5	6,308	△31.4
2025年3月期中間期	135,157	28.1	14,251	9.3	15,470	1.7	9,190	9.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △14,978百万円（－％） 2025年3月期中間期 45,857百万円（85.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	134.73	117.60
2025年3月期中間期	195.47	171.96

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	599,563	313,570	37.0	4,734.00
2025年3月期	600,593	323,549	39.4	5,058.27

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 221,732百万円 2025年3月期 236,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	55.00	—	86.00	141.00
2026年3月期	—	74.00			
2026年3月期（予想）			—	74.00	148.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	3.9	30,000	24.5	28,000	9.6	16,000	2.0	341.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 株式会社フェローテックマテリアルテクノロジーズ

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	47,117,949株	2025年3月期	47,117,949株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	279,602株	2025年3月期	297,422株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	46,826,071株	2025年3月期中間期	47,016,491株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2025年11月28日に決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)を会場開催及びオンライン(WEB)によるハイブリッド形式での開催を予定しております。

決算説明資料については、2025年11月27日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経営環境については、米国は先行きに関税政策影響による減速が懸念されるものの、個人消費は底堅く推移、住宅市場も改善傾向にあり、企業も旺盛なA I投資が生産量の回復、設備投資の増加へとつながっており概ね良好な状況です。欧州は、製造業の不振が継続しており景気を下押ししています。日本は企業の景況感は改善し、設備投資意欲も高まっていますが、輸出はやや伸び悩んでおります。中国は内需が補助金効果逡減もありやや鈍化する一方、輸出は主に米国向け以外が持ち直し全体として増加しています。

為替相場は、対米ドルレートは年初以降円高方向に進んだのち、7月以降円安方向に進みました。

当社グループの属するエレクトロニクス産業は、生成A I関連の投資が旺盛ながら、米中半導体摩擦や米国関税政策が下押しをしている状況です。ただ、中国国内の半導体需要は政府の支援が継続され相対的に堅調な状況です。一方、パワー半導体市場はEV(電気自動車)需要の調整が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの半導体等装置関連事業では、マレーシアを中心とした欧米顧客の中国外調達対応を進めると同時に、中国国内需要の取り込みに努め、製造装置向けの真空部品や金属受託加工やセラミックス製品の販売を伸ばしました。

電子デバイス事業は、生成A Iサーバー投資の伸びを受けサーモモジュールが増加しました。一方、車載関連事業はEV市場の調整により、パワー半導体用基板の販売がやや伸び悩みました。

営業利益は、新規設備増加に伴う減価償却費や販売費及び一般管理費の負担が大きく、前年同期比で伸び悩みました。経常利益は為替差損の計上及び中国補助金収入の減少もあり前年同期比で大きく減少しております。また、関西工場の生産設備の石川工場への移設等により、特別損失として固定資産処分損493百万円を計上しています。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は140,980百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は14,333百万円(前年同期比0.6%増)、経常利益は12,923百万円(前年同期比16.5%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は6,308百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

当中間連結会計期間のセグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(半導体等装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール及び各種製造装置向け金属加工製品、石英製品、セラミックス製品、CVD-SiC製品、シリコンパーツ、装置部品洗浄、石英坩堝などです。

真空シール及び各種製造装置向け金属加工製品は、米国メーカー、中国メーカーの堅調な需要を受け増収となりました。半導体マテリアル製品では、セラミックスが大きく売上を伸ばし、石英、CVD-SiCも増加しました。部品洗浄サービスは、中国の半導体及びFPD工場の良好な稼働率を背景に増収となりました。一方、石英坩堝は、太陽光パネル需要の調整により減収となりました。また、減価償却費をはじめとする新工場の立上げ費用負担増も利益に影響を与えております。

この結果、当該事業の売上高は88,378百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は8,190百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

(電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、パワー半導体用基板、磁性流体、センサなどです。

サーモモジュールは、好調な生成A Iサーバー投資を背景に光トランシーバー向け出荷が伸びました。パワー半導体用基板も順調に売上を伸ばしています。センサの収益は前年度の株式会社大泉製作所の決算期変更影響で第1四半期の収益計上がなかったのに対し、今期は収益計上しているため純増となっております。

この結果、当該事業の売上高は28,090百万円(前年同期比21.7%増)、営業利益は5,823百万円(前年同期比45.9%増)となりました。

(車載関連事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、パワー半導体用基板、センサです。

パワー半導体用基板は、AMB基板は販売が増加しましたがDCB基板の販売がやや減少し、全体では小幅な伸びにとどまりました。サーモモジュールは、EV市場の変化もあり売上が減少しました。センサは電子デバイス事業同様、前年度の株式会社大泉製作所の決算期変更影響で今期は収益計上しているため純増となっております。

この結果、当該事業の売上高は15,991百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は1,454百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(その他)

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、工作機械、太陽電池用シリコン製品等の事業を含んでおります。

太陽電池用シリコン製品が出荷減となったことに加え、前年同期に出荷増となった工作機械が反動減となり、大きく減収となりました。

当該事業の売上高は8,520百万円(前年同期比37.9%減)、営業損失は301百万円(前年同期は営業損失793百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

<資産>

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ1,029百万円減少し、599,563百万円となりました。これは主に商品及び製品4,001百万円、投資その他の資産1,250百万円が増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産3,698百万円、有形固定資産2,712百万円の減少によるものであります。

<負債>

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ8,949百万円増加し、285,993百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金7,321百万円が減少したものの、社債6,288百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)8,711百万円の増加によるものであります。

<純資産>

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ9,979百万円減少し、313,570百万円となりました。これは主に利益剰余金2,282百万円、非支配株主持分4,141百万円が増加したものの、為替換算調整勘定18,069百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,727	115,700
受取手形、売掛金及び契約資産	92,608	88,909
商品及び製品	21,197	25,199
仕掛品	17,269	17,636
原材料及び貯蔵品	33,611	34,284
その他	13,785	15,522
貸倒引当金	△832	△782
流動資産合計	295,367	296,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,505	95,224
機械装置及び運搬具(純額)	87,549	83,039
工具、器具及び備品(純額)	8,637	8,360
土地	4,669	4,671
リース資産(純額)	14,852	13,757
建設仮勘定	38,850	37,299
有形固定資産合計	245,064	242,351
無形固定資産		
のれん	1,861	1,769
その他	4,304	3,727
無形固定資産合計	6,166	5,496
投資その他の資産		
関係会社株式	29,422	29,731
その他	24,926	25,847
貸倒引当金	△352	△331
投資その他の資産合計	53,996	55,247
固定資産合計	305,226	303,095
資産合計	600,593	599,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,394	48,073
電子記録債務	4,197	4,528
短期借入金	34,482	37,255
1年内償還予定の社債	320	—
1年内返済予定の長期借入金	24,272	28,400
未払法人税等	2,518	1,769
賞与引当金	4,813	4,667
その他	25,750	25,681
流動負債合計	151,750	150,376
固定負債		
社債	—	6,288
転換社債型新株予約権付社債	25,000	25,000
長期借入金	78,222	82,806
退職給付に係る負債	1,307	1,320
資産除去債務	422	356
その他	20,339	19,844
固定負債合計	125,292	135,616
負債合計	277,043	285,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,549	29,549
資本剰余金	69,197	69,480
利益剰余金	90,435	92,717
自己株式	△587	△552
株主資本合計	188,595	191,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	936	1,423
為替換算調整勘定	46,859	28,789
退職給付に係る調整累計額	439	323
その他の包括利益累計額合計	48,235	30,536
新株予約権	—	977
非支配株主持分	86,718	90,860
純資産合計	323,549	313,570
負債純資産合計	600,593	599,563

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	135,157	140,980
売上原価	97,046	100,200
売上総利益	38,111	40,780
販売費及び一般管理費	23,859	26,446
営業利益	14,251	14,333
営業外収益		
受取利息	1,107	931
補助金収入	3,053	2,429
為替差益	742	—
その他	419	648
営業外収益合計	5,324	4,010
営業外費用		
支払利息	1,257	1,469
持分法による投資損失	2,560	2,263
為替差損	—	1,257
その他	287	429
営業外費用合計	4,105	5,420
経常利益	15,470	12,923
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
持分変動利益	4	—
特別利益合計	5	—
特別損失		
固定資産処分損	—	493
特別損失合計	—	493
税金等調整前中間純利益	15,475	12,430
法人税等	4,056	4,226
中間純利益	11,418	8,203
非支配株主に帰属する中間純利益	2,228	1,895
親会社株主に帰属する中間純利益	9,190	6,308

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	11,418	8,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△894	445
為替換算調整勘定	31,642	△21,330
退職給付に係る調整額	80	△116
持分法適用会社に対する持分相当額	3,610	△2,179
その他の包括利益合計	34,438	△23,181
中間包括利益	45,857	△14,978
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	35,820	△11,390
非支配株主に係る中間包括利益	10,037	△3,588

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	15,475	12,430
減価償却費	11,241	13,249
のれん償却額	56	92
株式報酬費用	300	917
賞与引当金の増減額(△は減少)	405	169
貸倒引当金の増減額(△は減少)	268	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△187	14
受取利息及び受取配当金	△1,145	△987
補助金収入	△3,053	△2,429
支払利息	1,257	1,469
為替差損益(△は益)	△417	826
持分法による投資損益(△は益)	2,560	2,263
固定資産処分損益(△は益)	—	493
持分変動損益(△は益)	△4	—
売上債権の増減額(△は増加)	△17,544	△4,162
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,963	△9,354
仕入債務の増減額(△は減少)	4,400	△1,096
その他	△2,368	1,246
小計	5,280	15,137
利息及び配当金の受取額	1,055	951
補助金の受取額	2,399	2,662
利息の支払額	△1,354	△1,493
法人税等の支払額	△3,229	△4,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,151	12,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	6,329	236
有形固定資産の取得による支出	△22,781	△27,225
有形固定資産の売却による収入	216	132
無形固定資産の取得による支出	△101	△150
投資有価証券の取得による支出	△1,107	△752
投資有価証券の売却による収入	2	428
関係会社株式の取得による支出	—	△4,068
貸付けによる支出	△60	△0
貸付金の回収による収入	20	62
その他	△255	△1,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,736	△32,596

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,192	4,333
長期借入れによる収入	20,031	24,681
長期借入金の返済による支出	△8,888	△13,739
リース債務の返済による支出	△339	△445
社債の償還による支出	△3,423	△320
非支配株主からの払込みによる収入	2,997	14,653
自己株式の売却による収入	—	18
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,347	△4,024
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△53	△93
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,169	25,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,978	△5,467
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,562	△596
現金及び現金同等物の期首残高	96,806	108,899
現金及び現金同等物の中間期末残高	104,368	108,302

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前中間純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	半導体等 装置関連事業	電子デバ イス事業	車載関連 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	84,042	23,085	14,304	121,433	13,723	135,157	—	135,157
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	84,042	23,085	14,304	121,433	13,723	135,157	—	135,157
セグメント利益	8,363	3,992	1,323	13,679	793	14,472	△220	14,251

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、工作機械、太陽電池用シリコン製品等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△220百万円には、セグメント間取引の消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用273百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	半導体等 装置関連事業	電子デバ イス事業	車載関連 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	88,378	28,090	15,991	132,460	8,520	140,980	—	140,980
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	88,378	28,090	15,991	132,460	8,520	140,980	—	140,980
セグメント利益 又は損失(△)	8,190	5,823	1,454	15,468	△301	15,167	△833	14,333

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、工作機械、太陽電池用シリコン製品等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△833百万円には、セグメント間取引の消去110百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用723百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。